

講義コード	11C0117700	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	金融論2					浅子 和美		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	金融と金融政策の基礎的理論や日本経済の現状を理解し、マイクロ・マクロ両面からの日本経済を見る眼を養う。								
到達目標	金融と金融政策の基礎的理論や日本経済の現状認識をベースにして、マイクロ・マクロ両面から日本経済の課題を理解し、自ら最善に対処する。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	参考書や指定された資料の該当箇所を事前に読み、授業中にとったノートをチェックするなど、予習・復習を合わせて60時間以上の授業外学修を行うこと。								
授業計画	【第1回】 金融と実体経済：(1) 金融仲介中断とクレジット・クランチ 【第2回】 金融と実体経済：(2) 通貨主義 vs 銀行主義 【第3回】 金融自由化と日本経済 (1) 【第4回】 金融自由化と日本経済 (2) 【第5回】 財政と中央銀行の独立 【第6回】 貨幣乗数と信用創造 【第7回】 3つの伝統的金融政策手段 【第8回】 流動性の罫 【第9回】 期待理論と金利の期間構造 【第10回】 非伝統的金融政策手段：(1) ゼロ金利政策 【第11回】 非伝統的金融政策手段：(2) 量的緩和政策 【第12回】 非伝統的金融政策手段：(3) アベノミクス 【第13回】 非伝統的金融政策手段：(4) マイナス金利政策 【第14回】 今後の日本経済 【第15回】 まとめ								
成績評価の方法	授業中に行う3回ないし4回の小テストと、期末試験の結果による。小テストは授業中の受験が鉄則であり、レポート等による代替は受け付けない。								
フィードバックの内容	小テストの結果は速やかに講評する。								
教科書									
指定図書									
参考書	『入門・日本経済 (第5版)』浅子和美・飯塚信夫・篠原総一 (編) (有斐閣) 2015年								
教員からのお知らせ	講義で取り上げるテーマは一部で流動的な要素が残っており、変更される場合もある。教科書の指定は、授業開始後に指示する。								
オフィスアワー その他	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。								